

# おおぞら

## 議会だより

### CONTENTS

3月定例会・予算審査特別委員会	2
臨時会・議会広報モニター会議・町民懇談会	5
議員7名が一般質問	6
①川村議員	障がい児支援の充実
②福田議員	中学校部活動の今後の在り方
③上地議員	上下水道の老朽化 ほか
④後藤議員	町内河川の維持管理及びバイパス道路の排水処理
⑤森賀議員	廃棄物中間処理施設の今後の進め方
⑥鈴木議員	森林活用・環境保全と地域経済活性化 ほか
⑦岩原議員	古木や危険木の実態とその対応 ほか

スポーツ少年団で頑張る子どもたち



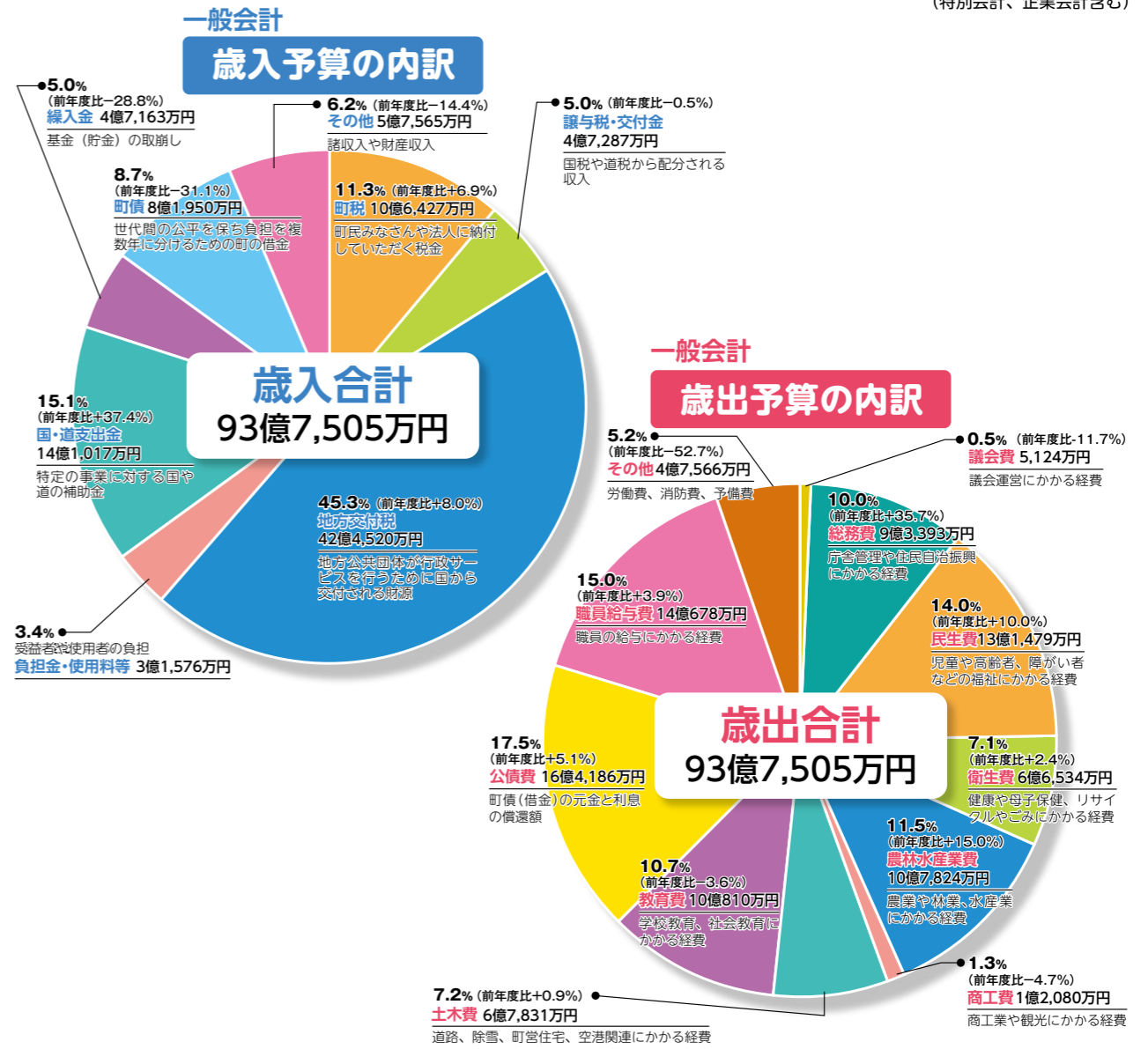
No. 76

OZORA  
GIKAI DAYORI  
[発行日]  
令和7年(2025年)5月30日

大空に  
人花心  
育むまち

# ～ 令和7年度 予算審査特別委員会 ～ 新年度予算 総額 123 億 4,762 万円 を可決

(特別会計、企業会計含む)



令和7年第1回定例会に提案された令和7年度大空町各会計予算は、議会に「予算審査特別委員会」を設置し、慎重に審議した結果、提案内容のとおり可決すべきものと決定し、議員全員の賛成により可決されました。

本特別委員会での総括質疑・答弁の概要をお知らせします。  
※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館または議会HPの「会議録」をご覧ください。

## ◎一般会計歳出

**ポイントカード事業** 後藤委員  
**問** そらっきカードの有効期限は令和8年3月31日までとなっている。端末も古くなっていることから、今後の方向性について伺う。

**課長** 今後の取扱い、進め方などについて、ポイントカードと協議をしています。デジタル技術の進展が著しい中、こういったことができるか検討してきましたが、さらなる考慮が必要ということ、現時点では現行での取り組みを更新し、継続して行っていく考えを持っています。その後の取扱いについては、DXの推進の中で引き続き検討したいと考えています。



そらっきカード

## ◎総括質疑

**冬季誘客促進事業について**

**問** 女満別空港の屋上でイルミネーションを点灯し、1万2,000人の集客があり、大事にしていきたい事業になると考えるが、町長の見解を伺う。

**町長** 株式会社エア・ドゥと包括連携協定を締結したことを機に実施している事業です。旅行者の増や、女満別空港に来てオホーツク地域を堪能いただける取り組みをやっていくと、イルミネーションについては3年行ってきました。今後の展開としてどのような取り組みが効果的かしっかりと考えながら、北海道エアポート女満別事業所にも協力をいただき進めている事業です。3者で協議し、誘客促進に繋がる取り組みを行っています。と考えています。

## 地域公共交通会議について

**問** 高校生の探求の時間の中で、地域公共交通会議等の会議があったらいいなという高校生の願い。今後も探究を進めていきたいという意見も伺った。町民の皆さんと業者の方々、利用者の中の高校生から小中学生等の意見を幅広く把握した中で、対応していたらいいと思うが、町長の見解を伺う。

**町長** 地域公共交通会議を令和7年度立ち上げます。公共交通としては、地域間バス、そして網走行きのバスしか持たない特に東藻琴地区の方々の地域交通の在り方が、どんなものが大空町の身の丈に合っているかを考えていかなければならない。高校生の意見は、高校に行っていることができるが、小中学生の意見やそれ以外の交通手段を持たない高齢の方の意見をアンケート調査等で拾い上げていかなければならないと考えています。

## 公園公住用途廃止後の活用

**問** 用途廃止後に、用途廃止後について、どのような意見の聴取、聞き取り方法の予定であるのか伺う。

**町長** 公園団地の後の活用については、庁舎内部、議員皆様と協議を行って考えていきたいと思います。過去、公園団地に隣接している昭和団地を取壊して、定住促進団地として宅地分譲を行った経過があります。住宅を建てる値段が当時と比べ高騰している中、分譲して住宅が新たに建設されるのか、地元の建設業者等の意見を伺う機会も持たなければならぬと考えています。

## 人口減少問題について

**問** 人口が減っていく中の課題として、若年女性と言われる20代、30代の方が減っている。今後、そういった方たちに町に残っていただき、暮らしをただただか課題となると思うが、将来のまちづくりについての考えを伺う。

**町長** 人口減少は止めることが出来ないが、下げ幅を緩めていくことが重要だと認識しています。移住定住担当部署も様々なアプローチをしながら、移住者の取り組みを行っています。令和6年度は大空高校の寄宿舎の増築を行い、令和7年4月には旧女満別高校の寄宿舎に新たに東京農業大学網走キャンパスの競技スキー部の学生が入寮します。関係人口を増やし、将来の移住定住に繋がってほしいと考えています。



東京農業大学 競技スキー部の学生

**問** 20周年記念事業について、町長の思いを伺う。

**町長** 大空町民、女満別地区、東藻琴地区の融和というのが大切で、20周年事業を行う中で、町民融和を図って、一体感を醸成したいと考えています。

**問** 歳入の大幅な増額が見込めない中、歳出をどう縮減するか課題がある。今後、公共施設の維持管理を含め多く

**松岡委員**

**町長** 公共施設の統廃合併すれば同じような施設を一つにする考え方はありますが、女満別、東藻琴両地区の距離がある中で、町民皆さんが利用される施設は両方に整備していくことも必要と考えています。施設について、既存の活用できる施設を使い、どうしてもそこでなければならぬものを新たな施設で考えていかなければならない。建築費等の資材費が高騰している中、町の公共施設を維持管理していかなければならぬので、しっかりとスリム化、適正化を行いたいと考えています。



YouTubeのQRコードはこちら

YouTubeのQRコードはこちら



# 令和6年度一般会計予算から 1億6,574万円を減額補正し、 総額は98億3,427万円に

## 令和7年 3月定例会 3月5日～12日

定例会

### 人事案件

教育委員会委員に三浦裕幸氏が任命、オホーツク町村公平委員会委員に佐藤明美氏が選任され同意しました。

### 計画の一部変更

過疎対策事業債の充當を予定している2事業を大空町過疎地域持続的発展市町村計画に追加することについて、可決しました。

### 条例制定・一部改正

大空地区河川防災ステーション管理運営に関する条例制定、大空町再生可能エネルギー発電施設の設置に関する条例制定、大空町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例制定など8条例の一部改正について、可決しました。

### 補正予算

令和6年度一般会計のほか、3特別会計・3企

業会計の補正予算について審議し、可決しました。

### 高齢者等移動支援事業

外出支援タクシーの利用者が増えているが、詳細について伺う。

### 福祉課長

これまでは1運行1枚限りの利用でしたが、枚数の制限を撤廃し、利用距離が延びたため、利用枚数も伸びています。

### 一般寄附金

1億4,000万円減と予算より大幅減となっているため、詳細について伺う。

### まちづくり推進室長

物価高騰の影響や米の価格の急騰など、社会情勢の影響があり、ふるさと納税全体の傾向として、日用品や日常使いが出来る冷凍保存が可能な食料品である肉、ホタテ、エビ、米など当町では取扱のない返礼品が人気という



黒毛和牛(芝桜和牛)切り落とし

### 低所得世帯等支援事業

事業日程について伺う。

### 福祉課長

令和6年度中に対象者の抽出を始めていきます。ご案内の発送と第1回目の給付開始が4月という日程です。

### 要望意見書

「厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を求める要望意見書」「食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改訂を求める要望意見書」について可決しました。

### 哀悼の意を表し

3月11日に東日本大震災で犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、黙とうを捧げました。



## 議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)開かれます。お気軽に傍聴においでください。
- ◆YouTubeを活用し、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。

6月定例会は、  
**6月18日(水)から**  
開かれる予定です。

大空町議会  
YouTube



### 3月臨時会

3月28日

公有林管理育成事業などに1,108万円追加補正

### 補正予算

公有林管理育成事業など、令和6年度一般会計の補正予算について審議し、可決しました。

### 公有林管理育成事業

後藤議員  
事業内容及び実施目的について伺う。

### 産議課

町内で約500haの主伐期50年を経過した木があります。伐採には費用がかかる一方で、更新がされないまま放置されると荒廃が進むこと。地球温暖化防止や水源涵養など、森林は多面的機能を有しており、木材財産売却収入の適正機能の観点からもある程度の面積を更新していく必要があると考えられています。

### 川村議員

今回の設計変更について伺う。

### 産議課

町有林の発注を行う2社あり、そのうちの1社については、伐採した集材を運搬するための集材運搬路が追加が必要となり、延長で681m追加し、495万円の増。もう1社については、搬出用の道路として、延長330m、集材用の道路として延長877m。非常に急傾斜の山の伐採ということもあり、集材を一時退避させるための集積場を造成したことに伴って追加として1534㎡。バックホーでの作業が追加となりました。788万円の契約変更となっています。



## 親しまれる議会だよりを目指して

### ～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりに町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を3月21日に開催し、議会広報活動へのご意見をいただきました。



- 主なご意見は次のとおりです。
- 町民の声をインタビュー形式にしてはどうか。
- 一般質問のYouTubeを議員ごとにチャプターで区切れると良い。
- ホームページのQRコード以外にも、SNSがあるものはQRコードを掲載した方が良い。

## 地域に出向き懇談会

3月26日午後6時から東藻琴総合支所で原本議長と3班の4人の議員が参加し開催しました。

東藻琴地区の除雪作業員として勤務するパート職員一同から提出された要望書の賃金、除雪オペレーター、備品や部品の修理、作業中の無線運用等について懇談しました。

また、学校の臨時休校、集団下校の判断の状況や高校通学バス助成についても要望がありました。

要望事項等は、所管常任委員会で検討協議して町側に現場からの意見要望として伝えていくこととします。





# 中学校部活動の今後の在り方に向けての取り組み方針について

ふくだ じゅんいち 福田 淳一 議員



福田議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(3時間 21分 00秒から)

両中学校の部活動は、種目によって合同チームを組まなければ参加出来ない現状にあります。教職員の働き方改革等の流れを受け、スポーツ庁と文化庁から学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドラインが示され、地域への移行を推進することとされました。教育委員会としても近隣市町の動向調査や事務担当者間の協議、先進取組自治体への視察訪問などを行っており、今後の部活動の方向性を示すため、小・中・高等学校の校長やスポーツ協会、文化協会等の代表者、PTA会長、有識者の方などと、大空町部活動の在り方検討協議会を設置し、拠点校方式、地域クラブ方式、近隣市町との広域

連携の可能性、いろいろな選択肢や送迎にかかる費用、指導者への報酬の課題等を整理し、教育委員会会議、議会の協議等を経て、町民説明会の開催を通じて、広くお示しをしていきたいと考えています。

文部科学省が示す学習指導要領において、学校の教育活動の一環として、教育課程との関連を図るよう留意すべきと定められています。北海道の動向や学習指導要領の改訂を見据えながら、教職員の関わり方を考慮していく必要があると考えており、段階的な措置もなく教職員の関わりをなくすことは、生徒が混乱する事態を招く恐れも考えられるので、情報共有を図り、検討していきたいと考えています。

人口減少という社会的影響が大きく、全てを解決することは困難で新たな発想を取り入れていく必要があると思います。生涯学習リーダーネットワークや指導者資格取得助成制度等、さらなる情報発信による利用促進を図り、育成に努めたいと考えています。地域おこし協力隊制度を活用し、町長部局と協議検討を進めたいと思います。部活動の在り方検討協議会の事務局を、学校教育グループが対応していますが、スポーツ文化を所管する社会教育グループも事務局メンバーとして会議等に出席し、連携を図っています。現状では、部活動の運営を民間業者に委託することも難しいと考えます。指導を希望する教職員もあり、兼職兼業も含め関わっていただく選択肢もあるのではないかと思います。児童生徒及び保護者も部活動に期待しており、加入を望んでいるという結果も出ています。

大空町ファミリー・サポート・センターの活動の様子

皆さんにとっても中学生の部活動は欠かせない社会教育授業。地域に見合う方策をみんなで一緒に探しましょう！

## 地域と教職員の関わりを考えた体制の整備と構築を

中学校部活動の加入状況。検討、取り組みについて伺う。

両中学校の部活動は、種目によって合同チームを組まなければ参加出来ない現状にあります。教職員の働き方改革等の流れを受け、スポーツ庁と文化庁から学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドラインが示され、地域への移行を推進することとされました。教育委員会としても近隣市町の動向調査や事務担当者間の協議、先進取組自治体への視察訪問などを行っており、今後の部活動の方向性を示すため、小・中・高等学校の校長やスポーツ協会、文化協会等の代表者、PTA会長、有識者の方などと、大空町部活動の在り方検討協議会を設置し、拠点校方式、地域クラブ方式、近隣市町との広域

赴任される教職員の関わり方、情報共有について伺う。

地域おこし協力隊制度で指導者となる隊員を募集するなど、様々な視点から誰かに負担が集中することがない方法の検討が重要。学校教育と社会教育の連携、情報共有について伺う。

大空町ファミリー・サポート・センターの活動の様子



# 障がい児支援の充実について

かわむら じゅん 川村 淳 議員



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間 27分 38秒から)

すべての子どもたちの笑顔と未来のために、一歩ずつ確かな支援を。

## 放課後デイの早期開設に向けて

町長 ◆令和8年1月開設目指す

放課後デイサービスの設置について、現在の進捗状況を伺う。

現在、町内には放課後デイサービスの事業所がなく、障がいのある児童は町外の施設を利用しています。しかし、移動手段の確保や施設の定員超過などの問題があり、十分な利用ができていない状況です。そこで、大空町は「第7期障がい者福祉計画」において、令和8年度までに放課後デイサービスの開設を目指す方針を掲げました。

具体的には、令和6年度に運営方法や人材確保を進め、令和7年度には施設改修・運営準備を行い、令和8年度の開設を目指します。

現在、小学校の特別支援学級に通う児童は8時以降の登校となっており、早期に出動しなければならぬ保護者にとって課題となっています。ファミリーサポートは保育施設等への送迎を含む支援を行っているため、障がい児への対応が課題となっているため、町として受け入れ体制の充実を図ります。まずは、援助会員向けの研修を実施し、障がいに関する理解を深めることで、適切な支援ができるようしていきます。

ファミリーサポートの利用促進するための対策について伺う。

町長 計画では令和8年度中の開設を目指していますが、準備が整いついていない状況です。想定では、必要な資格取得の期間を踏まえ、最短で令和8年1月に開設できる可能性が考えられます。

施設については、既存の公共施設を改修・活用する予定ですが、現在、関係機関と調整中のため、具体的な場所は決定次第お知らせします。

児童特化型ショートステイの導入についての考えを伺う。

現段階では、町として計画に位置づけておらず、導入の予定はありません。

ファミリーサポートの活用は可能か伺う。

具体的には、令和6年度に運営方法や人材確保を進め、令和7年度には施設改修・運営準備を行い、令和8年度の開設を目指します。

町長 現段階では、町として計画に位置づけておらず、導入の予定はありません。

ファミリーサポートの活用は可能か伺う。

町長 ファミリーサポートの仕組み自体は充実しているものの、保護者と援助会員のマッチングが十分に機能していません。社会福祉協議会と連携し、マッチングの円滑化を図るとともに、障がい児の受け入れを可能にする体制を整えていきます。

今後、障がい児とその家族が安心して暮らせる環境づくりに向け、支援を充実させていきます。

町長 計画では令和8年度中の開設を目指していますが、準備が整いついていない状況です。想定では、必要な資格取得の期間を踏まえ、最短で令和8年1月に開設できる可能性が考えられます。

施設については、既存の公共施設を改修・活用する予定ですが、現在、関係機関と調整中のため、具体的な場所は決定次第お知らせします。

児童特化型ショートステイの導入についての考えを伺う。

現段階では、町として計画に位置づけておらず、導入の予定はありません。

ファミリーサポートの活用は可能か伺う。

大空町ファミリー・サポート・センター

### 会員募集中

ファミサポは大空町の子育て支援事業のひとつとして、会員同士が双方の合意のもとに活動を実施する相互援助活動(有償ボランティア)です。「子どもが大好き」「何かお手伝いしたい」という方、また、子育ての方同士で「今日はウチで預かるよ」という方も大募集中です。

**サポートの内容**

- 対象年齢：生後6ヶ月～小学校3年生まで
- 活動場所：預かる方の自宅になりますが、会員同士で合意がある場合は、この限りではありません。(めっちゃいんど、わんぱくクラブ等でも可)
- \* 保育施設(保育園・児童クラブなど)への送迎
- \* 保育時間外の預かり
- \* 保護者の外出、必要が生じた時の預かり...など

**お申し込み・お問い合わせ**

大空町ファミリー・サポート・センター  
社会福祉法人 大空町社会福祉協議会  
〒099-2321  
大空町女満路西1条3丁目2番5号(旧婦連協会女満路支店跡地)  
電話：(0152) 75-6021  
FAX：(0152) 75-6022

東通等支店事務所  
〒099-3244  
大空町東通等360番地の1(東通等町会支所内)  
電話：(0152) 63-5105  
FAX：(0152) 66-2423

ファミリー・サポート・センター会員募集中

# 女満別空港の利用促進について

## 空港を核とした旅客数、交流人口の拡大を

町長▶各航空会社、観光関係とも連携していく

**町長** 令和6年の女満別空港利用者数は約77万5,600人です。コロナ禍以前の令和元年度と比較して9割にまで回復しています。利用促進に係る取り組みについては、空港周辺

**問** 女満別空港整備利用促進協議会や東北海道5空港利用促進協議会などにより、空港を核とした旅客数、交流人口の拡大による地域活性化の取り組みがなされてきました。現在空港を管理している北海道エアポートは、同社が運営する道内の7空港の2024年12月の運用状況をまとめて公表されています。7空港合計の旅客数は253万2,268人であり、女満別空港については、5万4,432人となっています。

令和6年の女満別空港利用者数は約77万5,600人です。コロナ禍以前の令和元年度と比較して9割にまで回復しています。利用促進に係る取り組みについては、空港周辺

の11自治体や経済団体などと協議会を組織し、プロモーション活動やキャンペーン、ツアー造成、地域の魅力をPRする誘客事業などを展開しています。路線の就航地先や航空会社、また、空港運営する北海道エアポートにもご協力をいただくなど、利用拡大と需要創出に努めています。さらに、各航空会社を訪問し、運航期間の延長や増便、新規路線の就航などを要望しています。



プロモーション活動(名古屋)

航空会社への支援については、女満別空港を発着する新たな定期路線を開設、増便、運行期間の拡大、機材を大型化した場合に補助金を交付する支援制度を設けています。また、国内チャーター便の運航に際し、着陸料など使用料を助成するほか、格安航空会社(LCC)を利用した町民に運賃の一部を助成するなど、路線の定着を側面から支援する取り組みを行っています。

航空からの移動手段としては航空機の到着時刻に合わせて定期バスが運行するほか、北海道エアポートがバス会社や観光事業者などと連携して、空港を経由して観光スポットを巡るバスの実証運行を行うなど、利便性の向上に取り組みられています。しかしながら、広大な土地に観光資源が分散しており、目的間の移動が容易でないなど課題があります。利便性が高くスムーズに移動できる公共交通の実現に向けて、複数の交通機関を組み合わせ、情報提供のほか、予約決済などをまとめて行えるサービスが道内でも進

められています。先進事例を参考とするほか、周辺の自治体や交通、観光事業者、関係団体などと連携し、旅行者の足の確保と誘客促進に繋がっていきます。

**問** 北海道エアポートが民営化して5年以上経過するが、ブランドハンドリングスタッフによる航空機の誘導や荷下ろしなど、地上の受入れ体制で大変苦労している。増便して新規航路を拡大するにあたっての課題になっているが。

近年は個人客が多くなってレンタルカー事業が増えてきていると感じています。しかし、免許保有していない方や、運転に不安のある旅行者への対応が必要であり、分かりやすい充実した交通網の提供が求められています。交流人口の拡大や観光事業の取り組みに向けて、関係各所と連携しながら対応を考えてまいります。

**町長** 近年は個人客が多くなってレンタルカー事業が増えてきていると感じています。しかし、免許保有していない方や、運転に不安のある旅行者への対応が必要であり、分かりやすい充実した交通網の提供が求められています。交流人口の拡大や観光事業の取り組みに向けて、関係各所と連携しながら対応を考えてまいります。

2次交通に関して、バスの有資格者がなかなか確保出来ないという課題がある。2024年の働き方改革の影響もあって難しい対応をされている。また、JRMも空港を利用する際に重要なものだが。

女満別空港からの移動手段として、鉄道を利用する場合には、バスやタクシーを使って女満別駅からの乗車をご案内するのがベストではないかと思っております。西女満別駅が空港から最短の最寄り駅ですが、利用されている方は少ないのではないかと思います。



# 上下水道の老朽化について

うえち ぶみたか 議員 上地 史隆



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間42分50秒から)

八潮市の道路陥没事故を受けて、国土交通省が全国の下水道管を調査することになりました。今後、このような事故が起きないことを願っています。

**町長** 水道施設については、管路延長約391km、水源として、湧水2箇所と深井戸7箇所、浄水場2箇所、配水池15箇所が主なものとなっています。水道管路では、老朽化

上下水道の老朽化が全国的に深刻な問題となっています。原因としては配管の多くが高度経済成長期に施設され、その多くが耐用年数を超えて長年使用されていることや、メンテナンス等の不足による劣化により漏水や断水、それらによる道路陥没事故が発生し住民生活にも多大な影響を与えています。国土交通省の発表によると、2022年度の道路の陥没発生件数は1万548件であり、どこで発生するか分からないという状況になっています。大空町の対策の現状はどのようなものか伺う。

水道施設については、管路延長約391km、水源として、湧水2箇所と深井戸7箇所、浄水場2箇所、配水池15箇所が主なものとなっています。水道管路では、老朽化

に起因する漏水事故により断水など住民生活に影響を与えていることを踏まえ、令和5年度に施設の計画的な更新を図っていくため、アセットマネジメント計画を策定しました。今後は計画に基づき老朽化が進行し漏水事故等が発生している管路の更新のほか、浄水場の機械設備や電気設備の更新を行っています。次に、下水道施設については管路延長約82km、ポンプ場1箇所、マンホールポンプ場20箇所が主なものとなっています。下水道施設の老朽化の状況については、水道施設と比較して新しい施設ですが、機械設備や電気設備は耐用年数が短いための計画的に施設の更新を進めています。

施設更新には多額の経費が必要になります。水道や下水道のようなライフラインは、施設を継続させていく必要があり、将来的な人口減少に伴う使用水量の減少を踏まえた施設のダウンサイジングによる更新なども、現在進めているところですが。

これからの人口が減っていく中で、単独で整備をしていくことは大変な課題になってくる。技術者の確保、経費の問題もあり、負担が大きくなれば利用される方の負担も将来的に考えられるのではないかと。

特に女満別地区は、網走市の水道施設を活用させていたいただき、原水の供給を受けることで、水質改善だけでなく、浄水処理に係る経費や将来的な浄水場の更新費用の軽減に繋げ、そういった努力をした上でも不足してしまっている経費は、町民皆様に



漏水復旧作業

負担していただかなければならない。その際には、給排水事業経営審議会や議会の審議のほか、利用者である町民皆様のご理解をいただく必要がありますので、できるだけ早い段階から議論を行ってまいりたい。

負担していただかなければならない。その際には、給排水事業経営審議会や議会の審議のほか、利用者である町民皆様のご理解をいただく必要がありますので、できるだけ早い段階から議論を行ってまいりたい。

# 管の老朽化による問題はないのか

町長▶計画に基づきながら更新していく

これは既に腐食対策を実施しています。また、5年ごとに内部の状況を確認しており、令和5年度にも点検を実施し、異常がないことを確認しています。状況に応じて適切に対応していきます。

一般質問

一般質問



# 廃棄物中間処理施設の今後の進め方について

もりか ゆうじ  
森賀 祐司 議員



森賀議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(6時間44分52秒から)

老朽化した焼却施設を早期に建て替える必要があり、大空町に建設できればメリットになるのでは？

**町長** 新たな建設地の選考については、第三者を含めた中間処理施設候補地評価委員会を設置し、選定することとしております。委員会は学識経験者3名のほか、1市5町の副市長、副町長の合計9名で構成するもの

**問** 廃棄物処理を行う上で、安全な中間処理施設の建設は必要不可欠で、優先順位の高いものと考えます。今後1市5町の枠組みを変えずに建設を目指していくことですが、この計画をどのように進めていくのか以下の4点について、町長の考えを伺う。現在予定地の選考についてどうなっているのか。民間の土地を候補地とする考えはないのか。候補地が白紙となった経緯についての検証について。予定地だった場所の盛土の対応はどうするのか。

の検証ですが、弁護士を含めた第三者による中間処理施設建設予定地検証委員会が設置され、検証が行われています。私を含め副町長、本事業に携わった職員に対しての聞き取り調査や、これまでの経緯などを検証するため、合計3回検証委員会

です。昨年12月以降、大空町を除く1市4町で、新たな建設候補地を検討することとなりましたが、期限内に建設候補地が上げられなかったことから、斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会で検討した結果、1市5町が有する施設建設に必要な1万4,000㎡の公有地を洗い出し、評価していくことになりました。民有地の利用について、公有地において適当な候補地が決まらない場合には、民有地も含めて協議していくことになると考えています。建設地を取下げたこと

**町長** あくまでも大空町に存在する町有地で、1万4,000㎡以上の土地について、そこが候補地として適切かどうかに関わらず、1市5町の協議会の中で出し合うことを取決めていますので、町として積極的というのではなく、大空

が開催され報告書がまとめられます。盛土の今後の対応について、昨年12月にオホーツク総合振興局からの口頭指導があったことから、適正な処理に向けて、大空町としての対応をオホーツク総合振興局に対して照会、協議中です。協議が整い次第、議員の皆様にご報告をさせていただきます。

**問** 候補地の選定に当たって、大空町として積極的に名のりを上げていくという考えは持っていないのか伺う。

**町長** 今回の白紙撤回したことに伴い検証委員会が設置され、報告書の中で次の建設候補地の選定に向けた示唆があると思っております。同じ轍を二度と踏まないように1市5町協力をして進めていきたいと思っております。



町田市バイオエネルギーセンター

**町長** 当初建設を予定していた候補地の盛土と廃棄物については、北海道と協議し対応したいと考えています。新たな施設の建設地がどこになることも、1市5町の行政、議会も含め協力しながら、地域住民の皆様にご理解いただきながら進めていきたいと思っております。

## 今までの経緯等の検証を町長と同じ轍を踏まぬよう1市5町協力して進める



# 町内河川の維持管理方針及びバイパス道路(女満別空港IC~網走呼人IC)の排水処理について

ごとう しゅうぶ  
後藤 忍 議員



後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(3時間52分07秒から)

整備計画が決まる前に、関係する河川の浚渫及び流末の施設機能アップの要望が必要です。

**問** 北海道では公共土木施設の維持管理基本方針を設けて、担当者判断による維持管理を行わず、方針に定ま

丸万川、東洋地区の東洋川などの河川があります。北海道では公共土木施設の維持管理基本方針を設けて、担当者判断による維持管理を行わず、方針に定ま

しかしながら一方で、担当職員の知識や経験に依存する属人的な対応になっていきますので、今後はこういった部分の改善が必要であると感じています。

維持管理基準については、道路や河川については明確に定めていません。担当職員において、どの程度の管理水準が良いのか総合的に判断し、緊急性を要するところから対応するといったメリハリをつけた対応をする中で、コスト削減が図られていると考えています。

平成27年・28年の大雨時に、農地に河川の水が氾濫したことがありますので、町民の生活さらには農作物等に被害が出るのではないよう機会があることに、できるだけ長いスパンの浚渫作業をしっかりと要望していきたいと思っております。

北海道管理河川の浚渫の要望に関しては、北海道への要請の中で、毎年行わせていただいています。平成27年・28年の大雨時に、農地に河川の水が氾濫したことがありますので、町民の生活さらには農作物等に被害が出るのではないよう機会があることに、できるだけ長

**町長** 高規格道路の整備に伴い、現状が畑であったところが舗装道路に変わることで、

北海道横断自動車道、女満別空港ICから網走呼人ICの整備計画に伴う排水路の改良、河川の浚渫などを要請するとともに、道路からの排水流下予定の河川である本郷地域の排水路とトマップ川、女満別川の積極的な浚渫事業等の実施をしていただきたい。また、平成27年度に堤防決壊があった女満別川



女満別空港網走道路 (北海道開発局 HP より)

る水の量が減り、排水される水の量が増えることになり。また、その水は既存の町が管理する排水路などを經由し、河川に流れることになるので、現在、北海道開発局で進められている高規格道路の設計に対して、町としても既存の排水施設能力を考慮した上で設計するよう申入れを行っているところ。引き続き、北海道開発局としっかり協議をしていきたいと思っております。

## 維持管理計画を立てて事業の実施を町長河川の浚渫事業は、計画的に行っていくたい

**問** 町内の河川の種類について、河川管理者別に伺う。

河川の種類として、国が管理する一級河川として網走川があります。北海道が管理する一級河川のうち、町管理河川の普通河川は、大空町全体で42河川あり、代表的なものとして、住吉地区のサラカオーマキキン川や本郷地区の黒瀬川、開陽地区から福富地区にかけての女満別川、山園地区の藻琴川など、北海道管理区間の上流部のほか、千草地区のチグサ藻琴川、大進地区の大進川、シンプイ藻琴川、明生地区の丸万川、東洋地区の東洋川などの河川があります。

北海道の業務委託により巡回点検を実施している北海道管理のトマップ川、パナクシユベツ川の両河川ともに河積が狭くなり、特にサラカオーマキキン川では平成27年の大雨時に堤防が決壊し、川が氾濫して沿線農地が冠水被害を受けたが、その後、管理者である北海道に浚渫等の要請を行っているのか伺う。

北海道管理河川の浚渫の要望に関しては、北海道への要請の中で、毎年行わせていただいています。

一般質問

# 廃棄物中間処理施設整備に関する 情報提供と研修機会について

## 持続可能な地域社会づくりをすすめるために

町長▶循環型社会形成に向け、町民の理解を得ながら整備を進める

**町長** 廃棄物中間処理施設建設地を取下げたことにより、供用開始時期が当初予定より延びることが想定されます。町の焼却処理施設は、年間平均約600トン処理しており、そのうち近隣市町と連携し、令和5年度実績で網走市の燃やすごみを約4%処理しています。

**町長** 焼却処理施設の維持管理経費は、年間約1億円で定期的な修繕、点検を行い施設維持しています。そのうち、修繕にかかる経費は、約3,000万円です。

**町長** 施設整備に関する情報提供と学習機会の重要性は認識しており、これまで小学生や自治会の施設見学受入れや学習会、広報やホームページを通じて情報発信を行ってきました。今後もごみの分別の重要性を啓発し、住民の理解を深める取り組みを継続していきます。

**町長** 施設整備に関する情報提供と学習機会の重要性は認識しており、これまで小学生や自治会の施設見学受入れや学習会、広報やホームページを通じて情報発信を行ってきました。今後もごみの分別の重要性を啓発し、住民の理解を深める取り組みを継続していきます。

**町長** 生涯学習の観点からは、住民の主體的な学びを尊重しながら、町長部局と連携し、環境問題に対する意識を高める学習機会の提供に努めます。

**問** 斜網地区市町では、令和2年度からごみ焼却処理施設の整備に向けた協議を進め、令和4年に斜網地区廃棄物広域化推進協議会を設立。施設の供用開始予定は、令和10年から令和12年6月でしたが、昨年12月に建設予定地が白紙撤回となり、供用開始遅延が懸念されます。

**問** 持続可能な地域社会づくりを進める観点から、地域課題を住民とともに考え、施設整備に向けた情報提供等や我が町の現状を踏まえた将来のごみ処理に関する学習機会づくりについて伺う。

**問** 生涯教育、生涯学習の観点からごみの分別、ごみ処理、リサイクル、資源循環等の環境問題をテーマにした学習機会の充実、支援策について教育長の見解を伺う。

**町長** 環境教育の面では、SDGsや持続可能な社会の実現に向けた教育（ESD）を推進することが教育行政の重点施策となっています。

**町長** 生涯学習の観点からは、住民の主體的な学びを尊重しながら、町長部局と連携し、環境問題に対する意識を高める学習機会の提供に努めます。



一般廃棄物焼却処理施設



# 森林活用・環境保全と 地域経済活性化について

鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(4時間39分03秒から)

未来につながるまちづくりには、循環型社会の推進が必要との観点から質問しました。

## 森林の二酸化炭素吸収価値を活用した施策の展開を 町長▶温室効果ガスの削減を優先し温暖化対策を進める

**問** 町有林を活用したカーボンクレジットにより、その収益を地域の森林整備や環境保全から経済活性化を推進している自治体があります。町の自然環境、特に森林資源を生かし、それを財源として産業振興に結びつける施策について、町長の見解を伺う。

**町長** 大空町は、2024年3月6日に「ゼロカーボンシティ大空町」を宣言し、地球温暖化対策実行計画を策定しました。大空町の再生可能エネルギー資源量や温室効果ガスの排出量、森林吸収量の推計を行い、削減目標と施策を定めています。現時点での推計では排出量のほうが吸収量を上回っているため、カーボンクレジットの活用は経済的な取引を伴うことから慎重な検討が必要です。

**町長** 大空町の森林面積は約1万3,300haで、町有林は1,440haです。そのうち人工林は、1,096haで林齢50年を超える伐採適齢期のものが535haで更新の遅れが課題です。令和6年度は、町有林伐採計画を16haに拡大する予定でしたが、作業道整備や労働安全等の問題から、10haの伐採に留まりました。適切な事業量を把握し、町有林の伐採、

**問** 森林環境譲与税の使途目的の中に地域林政アドバイザー制度があります。森林、林業行政の体制充実を図るもので、職員体制の充実を導入を検討してはどうか。

**町長** 森林環境税の課税対象の要件は、地域に精通した林業技術士であり、認定森林施業プランナーなどの資格要件が必要です。知識のある人材が採用できるのであれば、今後検討していく必要があると思います。

**町長** 大空町は、2024年3月6日に「ゼロカーボンシティ大空町」を宣言し、地球温暖化対策実行計画を策定しました。大空町の再生可能エネルギー資源量や温室効果ガスの排出量、森林吸収量の推計を行い、削減目標と施策を定めています。現時点での推計では排出量のほうが吸収量を上回っているため、カーボンクレジットの活用は経済的な取引を伴うことから慎重な検討が必要です。

**カーボンクレジット (J-クレジット)**  
温室効果ガスの排出削減量を取引できる仕組み。  
令和5年から東京証券取引所が専門市場を立ち上げている。



町有林伐採状況

**町長** 平成29年度から地域林政アドバイザー制度が創設されました。この制度は市町村や都道府県が、森林、林業に関して知識や経験を有する者を雇用、あるいは技術者が所属する法人等に事務を委託し、森林、林業行政の体制支援を図るものです。またこの制度は、特別交付税の対象で、措置率は70%、1人当たり上限500万円に設定されています。

**町長** 森林環境税の課税対象の要件は、地域に精通した林業技術士であり、認定森林施業プランナーなどの資格要件が必要です。知識のある人材が採用できるのであれば、今後検討していく必要があると思います。

一般質問

一般質問

# 本町の移住・定住の取り組み状況と支援施策について

## 移住者支援サポートには行政の各課横断的な協力が不可欠

町長▶子育て世代を重点に支援



まち巡りツアー（メルヘンの丘）

**町長** 令和6年度は、定住促進助成金の交付、空き家対策セミナーの開催、東京において移住相談会参加など取り組んだところです。

**町長** 令和6年度は、定住促進助成金の交付、空き家対策セミナーの開催、東京において移住相談会参加など取り組んだところです。

**問** 人の流れの創出、拡大、行政サービスの維持向上などに積極的に取り組むために、機構改革によりまちづくり推進室が設けられました。現在の移住・定住の取り組み状況と成果について伺う。

令和6年度の成果は、令和7年2月28日時点で、55件の移住相談を受け、24名の移住、件数では21件の方に移住して頂きました。引き続き努力していきます。

**町長** 現存する施設のスペースを使用し気軽に集える場所があると思います。コロナ禍が明けた中、在宅勤務が解消

**問** 人口減問題から移住者への依存度が高くなり、移住者への支援の方法として、以前質問で、コワーキングスペースの創設をお願いしたが、これらの施策により移住した人により、賑わいのある街づくりができてくると思うが如何か。

**町長** 多くの町民の方々が集えるスペースは、町の中に必要な機能だと認識しています。町民の他に移住者だけではなく、大空町を訪れた方々、空港を利用される方々など幅広い方々に訪れて頂ければ賑わいの創出に繋がるものと考えます。この機能を商店街の空き店舗を活用して行うのか、研修会館を建て替える際に持たせるのか公共だけでなく民間のノウハウ等も活用しながら検討を進めていくことが重要だと思っています。

**町長** 多くの町民の方々が集えるスペースは、町の中に必要な機能だと認識しています。町民の他に移住者だけではなく、大空町を訪れた方々、空港を利用される方々など幅広い方々に訪れて頂ければ賑わいの創出に繋がるものと考えます。この機能を商店街の空き店舗を活用して行うのか、研修会館を建て替える際に持たせるのか公共だけでなく民間のノウハウ等も活用しながら検討を進めていくことが重要だと思っています。

**問** 子育て世代への支援策として認定こども園の園児への新たな教育、保育の取り組み等の施策について伺う。

**町長** 子育て世代への支援策として認定こども園の園児への新たな教育、保育の取り組み等の施策について伺う。

**問** 移住・定住支援策はまちづくり推進室と関係部局との連携が求められると思うが、その取り組みについて伺う。

移住・定住支援策はまちづくり推進室と関係部局との連携が求められると思うが、その取り組みについて伺う。

**町長** 認定こども園は6月、ひがしものが4年6月6か月を迎えます。幼保連携型の認定こども園として、民設民営で開設され、大空町社会福祉協議会が運営主体です。

認定こども園は6月、ひがしものが4年6月6か月を迎えます。幼保連携型の認定こども園として、民設民営で開設され、大空町社会福祉協議会が運営主体です。

認定こども園は6月、ひがしものが4年6月6か月を迎えます。幼保連携型の認定こども園として、民設民営で開設され、大空町社会福祉協議会が運営主体です。

認定こども園は6月、ひがしものが4年6月6か月を迎えます。幼保連携型の認定こども園として、民設民営で開設され、大空町社会福祉協議会が運営主体です。

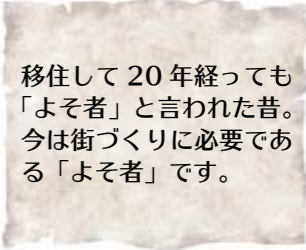


## 町内の公共施設や道路等に植栽されている古木や危険木の実態とその対応について

いわはら 繁 議員



岩原議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(5時間55分06秒から)



**問** 近年空き家が増えているが、住宅の庭などに植栽されている

**町長** 町は、公共施設や道路・公園等の樹木を主管課において適宜管理し、必要に応じて剪定や伐採を行っています。また、住民や地域から要望を受けて対応することもあるが、基本的に危険であるか、どのように支障があるか、伐採をすることによってどのような影響があるか等、優先順位をもって判断し対応しています。

**問** NHKの報道により、全国で街路樹など倒木事故が相次いでいることが指摘されています。町内の公共施設(学校も含む)、公園などに植栽されている樹木には道路敷地、住宅、電線、電話線などへの倒木の恐れのある物も見受けらるが、その実態と対応について伺う。

樹木等が隣接する住宅にかけり、樹齢により危険木とも見受けられるものもあるが、その地権者に対しての剪定、伐採の指導等について伺う。

**問** 住宅地区での地域の景観や潤いの場づくりとしての植栽は必要な事であるが、樹高制限やそれに伴う剪定や伐採にかかる経費はかなりの負担であるため、町民の生命、財産を守る上でも助成措置が必要と考えるが、町長の見解を伺う。

**町長** 住宅地区での地域の景観や潤いの場づくりとしての植栽は必要な事であるが、樹高制限やそれに伴う剪定や伐採にかかる経費はかなりの負担であるため、町民の生命、財産を守る上でも助成措置が必要と考えるが、町長の見解を伺う。

**町長** 環境衛生の観点から、廃棄物の処理及び清掃に関する条例において、空き地空き家の清掃の保持及び周辺の美観が損なわれないよう適正に管理することが定められています。地域における生活環境を阻害する恐れのある場合は、所有者に対し必要な処置を講ずるよう文書で通知しています。

**町長** 町は、住宅地における樹高の制限はしていません。また、庭木も含め個人の財産の管理について、どこまで行政が助成すべきか、公平性などを考慮すると、現時点では助成する考えに至っていません。

**町長** 他の自治体での補助制度については存じてないので、他の補助金の要綱等見させて頂いた中で、内部で検討させていただきます。

**問** 助成措置のある自治体を調べてみると、実施しているところもありました。街並みの景観や緑化政策の一環で実施しているの再度伺う。

空き家と同様に所有者に必要な処置を講ずるよう通知したいと考えています。

町は、住宅地における樹高の制限はしていません。また、庭木も含め個人の財産の管理について、どこまで行政が助成すべきか、公平性などを考慮すると、現時点では助成する考えに至っていません。



道路敷地、電線等にかかっている樹木

## 市街地区の空き家危険木等の伐採に助成制度を町長▶公共施設等は主管課で処理、私有地は所有者に通知

一般質問

# Voice 声 町民の インタビュー

## 広々とした景色が 泣けるほど 心にしみました



もり 森 のり 則 お 雄 さん  
(神奈川県から移住)

### ①大空町に移住した決め手は？

役場の移住推進室の対応がとても良く、結果として移住の先輩や地域の方々との接点があったことでこれも縁かなと思えたことが決め手になったと思います。

### ②大空町の好きなところは？

空が広いところ  
晴れの日が多い  
人が良いところ

オオゾライフ  
instagram



### ③大空町の、これだけは言っておきたい、知ってもらいたい、聞いてもらいたいことは？

長く住まわれている方はなかなか気付いていないかもしれないのですが、旅行者から見て、大空町周辺には、四季折々の景色がとても素敵なおところがたくさんあります。

そのことをいろいろなところで広めて、大空町ファンをもっと増やせたらいいなと思います。

## なつかしの校舎



東洋小、中学校

東洋地区は、昭和17年から入植が始まり、終戦後、広島団体の入植で昭和24年には、40余戸が開拓農営にあたりました。

小学校は、昭和26年山園小学校の分校として設立、昭和28年東洋小学校に昇格。児童数30名でのスタートでした。昭和39年には、中学校も設置されました。

中学校は、昭和45年に東藻琴中学校に統合。小学校は、昭和47年に山園小学校に統合されました。小学校卒業児童は、95名。中学校卒業生は、28名でした。

東洋校歌の作詞は大塚 盈先生、作曲は、渡辺 三郎先生です。三番の歌詞には、「藻琴嶺嵐す（もことねおろす）冬の日の 冴える氷柱（つらら）を窓に見て われらのわれらの 東洋校 拓け明日を たくましく」と詠われています。

戦後開拓で、厳しい自然環境下の藻琴山山麓に入植された方々の子弟が集った学び舎の様子が目に浮かびます。  
(参考文献 東藻琴村誌、東藻琴小学校開校百周年記念誌)

## 社交場



@OZORA\_EKI



### 営業案内

- ・時間制のお店です。
- ・1時間 2,300円(税込)～
- ・飲み放題メニューから選べます。
- ・チャージ、チャーム料「なし」
- ・カラオケ歌い放題 店内禁煙

大空町女満別西2条4丁目1-9  
(役場近く)

その他の営業情報は・インスタ X(旧ツイッター)で!

※民間企業からの有料広告を掲載しています。

## 編集後記

早いもので広報委員として12年目を迎えますが、議会だよりを住民の方に読まれるにはどうしたらいいのか、議会の活動を知ってもらうにはどのようにしたらいいのか、試行錯誤をしながら、今日まで他の委員やモニターと共に編集をしてきました。十人十色の言葉にあるように、人によって色々な見方や考え方、捉え方など多様であり、どのようにまとめ反映していくのが課題となっています。そのようなことも考えながら今後も編集に取り組んでいきたいと思っています。

また、今年度は大空町が誕生し20年の節目でもあります。記念行事も企画されていますので、皆さんと共にお祝いすることを心より楽しみにしています。  
(上地)

### 議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)  
委員 鈴木秀之  
副委員長 上地史隆  
委員 森賀祐司  
委員 福田淳一  
委員 大泉知功

今後ともよろしくお願いたします。

